

# 三陸ジオパーク ジオだより



三陸ジオパーク推進協議会

## みちのく潮風トレイル&三陸ジオパーク 2024 シンポジウムを開催

三陸の大地が育む豊かな「食」のひみつ  
みちのく潮風トレイルで三陸の魅力と出会う  
MCT x GEOPARK 2024 シンポジウム  
11.30土  
陸前高田市民文化会館 奇跡の一本松ホール  
講師 巽好幸氏

### 《ジオ×トレイル×三陸の食文化》

11月30日(土)に陸前高田市民文化会館において、「三陸の食文化」をテーマにシンポジウムを開催しました。

三陸の郷土芸能や食といった多様で豊かな文化は、大地（ジオ）が育んだ貴重な資源であることの理解増進を図るとともに、これらの文化資源を磨き上げ国内外に発信し、交流人口の拡大につなげる契機とすることを目的に企画・実施したものです。

基調講演には、「美食地質学」の創始者である巽好幸先生（ジオリブ研究所所長）をお招きし、三陸の豊かな食文化と大地のつながり、その恩恵と試練は必ず繰り返すことのお話をいただきました。

続くパネルディスカッションでは、三陸の各方面で活躍されている皆様にご登壇いただき、「トレイルとジオパーク 三陸の魅力国内外に発信」をテーマにトレイルを歩いて出会う三陸の魅力について意見を交わし、「北上山地のトレイル」という話や「ジオパークは、地域と来訪者とのコミュニケーションツールである」という話題も登場しました。

#### ファシリテーター



相澤 久美氏

#### パネリスト



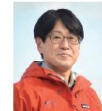
貫牛 利一氏



坂田 雄平氏



勝俣 隆氏



河東 英宜氏

郷土芸能は、地域の歴史や文化をものごたります。開催地の団体の皆様にご出演いただきました。今回は特に外国人のゲストに郷土芸能を体験してもらい大変好評でした。



郷土料理の体験コーナー

食文化体験では、地域の皆様にご協力いただき三陸各地の手作りの郷土料理が並び、とても賑わいました。

三陸エリア内でも他地域の郷土料理を初めて知る機会になり、美味しい笑顔が広がる交流の場となりました。



郷土芸能ステージ

### トレイル関係自治体協議会と みちのくトレイルクラブと三陸ジオパーク 推進協議会の三者で連携協定を締結

シンポジウムの開催に先立ち、協定式を行いました。三陸ジオパークの構成市町村を含む29市町村と連携して参ります。





# ジオパークでトレイルモニターツアーを実施

## 陸前高田市の見どころツアーをインバウンド向けに企画

今年度の日本博2.0事業ではインバウンド向けに、トレイルモニターツアーを実施しました。岩手県内に限らず、青森や山形、東京などの各地から在日外国人の皆様（10名）をお招きし、1泊2日でシンポジウムにも参加いただきましたが、基調講演とパネルディスカッションの聴講と翌日にかけて陸前高田市内のさまざまな地域資源を体験する内容でご案内しました。三陸の郷土芸能と郷土料理を体験できる機会にとっても喜ばれていましたが、陸前高田市立博物館では文化財の復旧作業のことから地域の成り立ち、歴史文化などの解説に時間が足りなかったと言われるほど高評価をいただきました。

トレイルのルートは基本的に大体が海に近いので、箱根山は「寄り道ルート」となりますが、初めは海沿いを歩き、震災後に建設された防潮堤の脇を通り、たわわに実ったリンゴの畑が隣接する民家の路地を抜け緩く上っていきます。そして後半は山の中の自然道となり、到着した山頂近くの展望台からは、広田半島を中心にリアスの海岸線を一望できる格別な景色が目の前に広がりました。通訳の同行付ガイド解説で、変化に富んだ《とっておきの陸前高田ジオツアー》をお楽しみいただけたのではと思います。

【行程】 広田湾・矢の浦漁港～箱根山（展望台まで）～気仙大工左官伝承館（お弁当昼食と建物の解説）～郷土芸能体験（仲町虎舞）～リンゴ狩り体験（イドバタアップル）～道の駅高田松原



三陸ジオパーク認定ガイドの吉田さんの案内で、目指すは箱根山の展望台



気仙大工左官伝承館の中庭で仲町虎舞の皆さんと交流



海が見えるリンゴ畑で米崎りんごとジオの「なるほどな関係」を聞く

## <北部ブロック>三陸ジオパーク認定ガイドによるイベントが開催されました。

今秋、北部ブロックにて、三陸ジオパーク認定ガイド活動支援補助金を活用した2つのイベントが開催されましたので御紹介いたします。

### 1 GEO TREK&YOGA（ジオトレック&ヨガ）

10月12日（土）八戸市を中心に活動する戸川拓馬ガイドの主催による「GEO TREK&YOGA（ジオトレック&ヨガ）」が開催されました。北部エリアにて、ジオトレッキングとヨガを組み合わせたイベントは初開催。参加者は葦毛崎展望台からスタートし、トレッキングしながら戸川ガイドの解説でジオを学んだ後、「種差朝ヨガ」でインストラクターを務める島守氏を講師に迎え、大須賀の鳴き砂エリアにて、ジオを感じながらヨガでリラックスしました。



### 2 特産品はなんでそこに？

11月4日（月・祝）野田村を中心に活動する町田恵太郎ガイドと、洋野町を中心に活動する寺田英人ガイドの主催によるイベント「特産品はなんでそこに？」が道の駅いわて北三陸にて開催されました。「北三陸の特産品はなぜそこにあるのか？」をテーマに、参加者は、「のだ塩」や「おおのミルク」等の北三陸の特産品とジオとのつながりについて、町田ガイドと寺田ガイドの解説に耳を傾け、たたら製鉄体験クイズや「のだ塩」作り体験を楽しみました。





# R6 市町村長ジオツアーを実施しました

構成市町村の首長の皆様に、各ブロックでトレイルウォークを楽しみながら三陸ジオパークの見どころをご案内しました。

テーマ：三陸ジオパーク最北地、八戸市をまるごと楽しもう

種差海岸遊歩道トレッキングと海成段丘の成り立ちから歴史文化に触れる、八戸市内にあるジオサイトや関連スポットを巡りました。



【北部11月11日】国立公園でもある種差海岸でジオサイトの枕状溶岩を見学



【南部11月20日】リニューアルした唐桑半島ビジターセンター前にて

テーマ：古生代の南部ブロックにタイムスリップしましょう

南部ブロックでは、特に「古生代」を示す地層や動植物の化石が多く産出しているため、古生代の生物たちの繁栄から大量絶滅までを一度に学習することができます。

また、美しい自然景観や積み重なる歴史、文化、古生代と新生代（現代）の違いを感じながらトレイルウォークも楽しみました。

テーマ：みちのく潮風トレイルから三陸ジオパークを感じる

全線開通5周年を迎え、イギリスの「タイムズ」紙の「日本の訪れるべき14の場所」に選ばれたみちのく潮風トレイルは、ルート上で自然や文化、震災の歴史を感じることができ、三陸ジオパークとの親和性が非常に高いものとなっています。

中部では、両方のつながりを色濃く感じることができるコースをご案内しました。



【中部11月25日】三陸鉄道リアス線の島越駅からスタート

## 宮古短大「まちのフィールドワーク」



久しぶりの遠足気分??



社会科見学のように



台風10号災害のお話も



被災当時のままの姿を見る

10月2日午後の時間を使い、岩手県立大学宮古短期大学の1年生67名の皆さんが、地域学習「まちのフィールドワーク」で岩泉町と田野畑村のジオツアーに行ってきました。いつものキャンパスから大型バスで出発。2班に分かれて①岩泉乳業（ヨーグルトの工場見学）～②道の駅いわいずみ～③北山崎～④明戸地区の防潮堤（震災遺構）をまわってきました。

学生の皆さんは、宮古市外や岩手県外からも来ているのですが、在籍中の2年間のうちに地域に出かけていく機会がなかなかとれないこともあり、宮古短大協力会（宮古市・山田町・岩泉町・田野畑村などで構成）からの協力を受け、現地にて地域の産業や見どころ、人々のなりわいや活躍などを知り、地域を学んでもらうことを目的に、ジオパーク授業のテイストでのフィールドワークを今回初めて実施したものです。

大学生のグループが見学に行く姿も地域にとっては珍しいようでしたが、学生の皆さんも〈大人の遠足〉感で楽しそうでした。同行したガイドのジオ解説に熱心に耳を傾け、以前に来たことのある場所でも新たな情報を得たり、三陸地域の見どころや知らなかったことに気づいたり、とても充実した午後の講義になっていたようです。次年度にも継続して実施することになりました。



## みちのく潮風トレイルを歩きながらジオを感じるスポット<その2>

**3 田野畑村 鶺鴒の巣断崖と海辺のみち**  
 延長/3.2km 所要時間/1.5時間 みちのく/鶺鴒の巣断崖、ハマナスの群生地



高さ150mの鶺鴒の巣断崖は、中層に三つの巖が架かることからその名がつけられた絶壁です。鶺鴒の巣断崖からは雄略海岸の雄略の断崖まで、その足元に打ち寄せる雄大な太平洋の白波を望むことができます。また、真木の海岸から白池海岸までは、5つの隧道（トンネル）と海辺を渡るコースとなっており、絶壁の自然とふれあひながら、150mもの断崖の地形美を楽しむことができます。

**おすすめコース**

- 鶺鴒の巣断崖遊歩コース 鶺鴒の巣断崖→鶺鴒の巣断崖  
所要時間/20分 観音ポイント/松の太木に隠れた自然美・鶺鴒の巣断崖
- 隧道散策コース 真木沢海岸→むらさき隧道  
所要時間/40分 観音ポイント/浸食・雄略海岸の自然美・ハマナスの群生地

田野畑村にあるジオサイト、鶺鴒ノ巣断崖をご存じでしょうか。三陸ジオパークのガイドブックには『弓状にえぐられた高さ200m近くの断崖が5連に連なる様は、さながら巨大な屏風のように。浜辺まで下りられる遊歩道も整備され、そこからの眺めは圧巻。海洋プレート上の様々な堆積物などが約1億4,000万年前に大陸プレートに押し付けられ、極めて複雑に変化した付加体からできている。』とあります。今回はここに記述のある、遊歩道をご紹介します。みちのく潮風トレイルのルートに接している〈寄り道〉とは言え、ダイナミックな海と岩を堪能しながら、5つ隧道をくぐりぬけ、手足を使ってよじ登る箇所もありますのでアドベンチャー感が楽しめます。鶺鴒ノ巣断崖から白池海岸までは約5kmと距離も短く、初夏にはハマナスの群生もかわいらしいピンク色の花を咲かせています。



この辺りは東日本大震災で地盤が沈下し津波によって砂浜が減少してしまいました。波が打ち寄せてくる場所（高波注意!!）なので、海岸線を歩く際は事前に潮位が低く波が穏やかなことを必ず確認しましょう。『高波の時は無理をせず引き返す』という判断がとても大切です。

宮古地域振興センターでは、こちらを安全に歩くためのマップを作成中ですので、完成したらぜひ参考にしながら歩いてみてください。（記：紀田）

**さんりくジオパークかわらばん 2024**

野田 岩泉 宮古 山田 大船渡 陸前高田 住田

子どもたちがみつけた魅力



一堂に展示 全作品を

**編集後記：** 三陸のジオパーク検定は、年に1回で1月に実施していますが、エリアが広いので、ガイド講座と同様に北部・中部・南部の3会場で同時に行っています。今回は、近隣では東松島市からと遠方では横浜市からの受検者がありましたが、全部で15名ほどが初級に挑戦。実は私もこっそり問題を解いてみました。が・・・回答に自信がない問題がいくつかあり、後で調べることに(;^\_^)

そこで、読者の皆さんにも検定問題をこっそりここに載せてみます。次回は会場でチャレンジしてみませんか？ 頭の体操におすすめです！

**問1** 2025年2月現在、日本ジオパーク委員会が認定した「日本ジオパーク」は何地域あるでしょうか？ ①46 ②47 ③48

**問2** 総延長が23.7kmと日本で最も長い鍾乳洞が三陸ジオパークのエリアにあります。その鍾乳洞名は、次のうちどれでしょうか？

- ①龍泉洞 ②安家洞 ③内間木洞

\*答えは次号に掲載します。

～と～

### 三陸ジオパーク推進協議会

〒027-0072

岩手県宮古市五月町1-20

(宮古地区合同庁舎2階)

TEL:0193-64-1230

FAX:0193-64-1234

info@sanriku-geo.com

https://sanriku-geo.com/



Facebook

2025 期間 **2月8日(土) ~ 2月16日(日)**

会場 **イオンタウン釜石 2F** ◆ 9:00~20:00  
 眼鏡市場横イベントスペース

主催：三陸ジオパーク推進協議会  
 協力：イオンタウン釜石、岩手県(沿岸広域振興局、東北広域振興局) 野田村、岩泉町、宮古市、山田町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、住田町、大船渡市立博物館  
 後援：特定非営利活動法人日本ジオパークネットワーク、公益財団法人イオン環境財団

